

琵琶湖湖南流域 水害に強い地域づくり協議会 第10回協議会 報告

日時：平成24年2月6日（月）9:30～12:00

場所：滋賀県建設技術センター 2階 大会議室

本協議会は、大津市、草津市、守山市、栗東市、野洲市を対象として、専門的な学識経験等に基づく助言をいただきながら、琵琶湖沿岸及び野洲川等の洪水被害及び土砂災害の回避・軽減を目指し、流域の住民自らが被害を回避・軽減できるような各種の流域対策について検討を実施しています。

1. 開会

会長の實教授（京都大学防災研究所）より、「水害は、日本各地で発生し、海外ではタイでも発生している。幸い滋賀県では日本で最も水害被害の少ない県と言われているが、過去には大水害が発生している。備えあれば憂いなしと言われているように、本協議会でさまざまな議論をし、お役に立てていけたらと思う。」との挨拶をいただきました。



2. 主な議事

■協議会規約の改正

協議会規約（改正案）の説明が行われ、改正案のとおり承認されました。

■これまでの経過、取組について

前回の第9回協議会（平成20年7月28日開催）から時間が経過していることや協議会の委員構成を見直したことから、平成16年8月に本協議会を設置し、これまでの協議会や各市の取組、活動について報告がなされ、審議が行われました。

○協議会活動の経過、取組について

平成16年8月に本協議会を設置し、これまでにどのような取組を行ってきたのか、本協議会の協議会活動の経過、取組（協議会、担当者会議、ワーキンググループ、ワークショップ等）について事務局から説明がなされました。

○各市における防災・減災の取組について

平成16年8月に本協議会が設置されてから、これまでにどのような防災・減災の取組がなされてきたのか、大津市、草津市、守山市、栗東市、野洲市の各市における防災・減災の取組について各市の担当者から説明がなされました。

■今後の協議会の取組について

事務局から災害時要援護者支援に関する検討課題と経過、近年の災害の動向から今後の協議会としての取組方針、検討の進め方について説明がなされ、議論が行われました。

また、今後の協議会の取組内容として以下の提案が行われました。

○水害時避難支援に関する検討について

- ・水害時の避難支援を明確にすると共に、これまでの「災害時要援護者支援WG」と過去に協議会で検討した避難勧告技術基準「避難の目安となる指標WG」を統合し、「水害時避難支援WG」として検討を進め、「安全な避難」を目指して、「行政が避難情報を伝えること」、「住民自らが自主避難する仕組み」を視点を検討を行う。また、災害時要援護者支援は、「安全な避難」を大きな括りとした中の課題として、今後も検討を行う。
- ・当面（平成 23 年度）の検討内容としては、内水氾濫を考慮した解析モデル等を用い、避難判断基準の検討を行い、地域毎の水害への切迫性の違いを踏まえ、避難情報の運用面を考慮し、避難区域を分割し、ブロック毎に発令基準（数値化）を定める。

○地域防災力の向上に関する検討について

- ・災害時要援護者への避難支援の各市における現状や取組の情報共有等を図り、名簿共有や支援体制構築の推進を図る。・出前講座等により、地域の水害に備える意識の高揚を図る。

■意見交換

各委員から様々な意見が出ました。以下に主な意見を示します。

- ・各市で実施された事業について、その事業が何につながっているのか、どのような課題点・問題点があり解決するための手段が何であるか等、そのような情報を本協議会で共有及び議論できていければと思う。
- ・地域の防災力を高めるためには、その地域でのリーダーが必要になると思う。大津市では市内各地域で防災士育成のための援助を実施しているように、各市もリーダーを育成する取組を実施しても良いのではないかとと思う。
- ・各地先によって住民の方々が抱える懸念事項というものは異なると思われる。どのような情報が必要かは、各地先で要求していただけるような形式にすることが重要であると思われる。

■結 果

これらの各委員からの意見を踏まえつつ、今後の協議会の取組や提案内容を実施していくことが確認されました。

3. その他

本協議会から、平成 20 年 8 月に滋賀県知事に提言した「水害に強い土地利用や住まい方に向けての浸水マップを用いた効果的な取組について」の内容を受け、どのような取組を行ってきたのか、滋賀県から水害に強い地域づくりに向けた「滋賀の流域治水の考え、取組」について報告がなされた。

4. 閉 会

琵琶湖河川事務所の竹田所長より、「東日本大震災以降、ハードの整備だけでなく、ソフトの整備の重要性が高まりつつあり、これまで実施してきた整備に加えて、住民の方に防災意識を持っていただく必要がある。今後、ワーキング等で本日議論いただいた内容を検討し、少しでも被害を少なくできるよう、議論を続けていきたいので、ご協力をお願いしたい。」との閉会の挨拶を行いました。

以 上